

平成 31 年度 高知丸の内高等学校（チーム丸の内）経営方針について

高知県立高知丸の内高等学校

- 多様な生徒のニーズや大学等への進学のために必要な学力等を向上させるため、
- 本校の特色を生かし、「**点から線、線から面への教育活動**」を展開することで、
- ◆志をもち、「**夢の実現**」に向かう、**知・徳・体の学力の向上**（進路保障）を実践する
 - ◇**全日制単位制**の特色を生かしたカリキュラムを通して教育活動の充実に取り組む
 - ◇**音楽科**における専門的な知識、技能を伸ばす取組等を通して、豊かな人間性と創造性を備えた生徒の育成に取り組む

- I 目指す学校像 **社会に貢献できる人づくり～幅広い教養と豊かな人間性の育成～** を目指し、学力向上、基本的な生活習慣の確立、社会性を育成する学校
- II 目指す生徒像 **「夢の実現」を合言葉に、自らの志に向かって日々努力を重ね歩むことのできる生徒**
- III 目指す教職員 **指導法の見直しや授業改善等の必要性を自覚・実践し、「学び続ける」教職員集団**
- IV 本校の目標 **「夢の実現」＝進路保障**
志をもち、「夢の実現」に向かう、①学力向上 ②基本的な生活習慣 ③社会性 を育成することで多様な進路実現を図り、**④社会に貢献できる人づくりを進める**

- 学習・部活動・学校行事をとおして、生涯にわたって「学び続ける」姿勢と基盤をつくる
- 論理的に「聴く」・「書く（構築する）」・「伝える」**論理コミュニケーション力** の育成
- ①学力向上： 知：知識・技能、体験等を「思考・判断・表現」に活用できる力
徳：豊かな人間性
体：心身の健全
 - ②基本的な生活習慣：凡事の徹底——「**時を守り 場を清め 礼を正す**」
 - ③社会性： **自分の中にあるよさ**を伸ばすとともに、他（他者、地域・社会等）に関心を持ち、「知る」ことで協働して取り組み、**社会での役割を果たす力**
 - ④社会に貢献： **ボランティア活動等**（防災活動、地域の活性化等）

1 生徒支援・生徒指導の充実

- 1) 豊かな人間性の育成（人も自分も大切にする）
 - ・教職員ははじめのある指導、人間的な温かさをもった指導を展開する（生徒も教職員も一人にしない）
 - ・生徒支援部を中心に、正・副主任、教科担当、部活動指導者等全教職員で支援・指導する
 - ・生徒支援委員会を中心に、生徒の情報を共有し、必要に応じてチームをつくり対応する
- 2) 外部・専門人材も積極的に活用する
- 3) 「いじめ防止基本方針」の基本認識を共有して対応する

2 学力の向上と進路実現 学業・部活動・学校行事

- 1) 授業で勝負する・授業を大切に
 - ・「点から線、線から面への教育活動」：総合的な探究（学習）の時間を核に、個々の教育活動をつなぐ。
 - ・論理的に「聴く」・「書く（構築する）」・「伝える」論理コミュニケーション力を育成し、プログラミング・面接・プレゼン・小論文等に対応する力を育成する（総合的な探究（学習）の時間：遠隔授業）
 - ・「平成 31 年度高知丸の内高等学校教育活動方針 学びは楽しい」に基づき、「良い授業」の 6 項目を実現する授業を実践する（学力・学習状況調査や授業評価アンケートによる効果検証）

- ・OJT推進の校内体制の充実：校内研修、公開授業、先進校視察、授業改善検討委員会、高等学校支援チーム等を活用する
 - ・生涯学び続ける姿勢と基盤を醸成する
- 2) ホームルーム（学級）を大切にする
- ・年次主任、正・副主任を中心に、学校全体で生徒を育てる前提のもと、教科担当や部活動顧問等も連携・協力してホームルーム（学級）経営に参画し、生徒を育成する
 - ・面談の継続的な実施等により、「夢の実現」を支援する
 - ・まるナビ（シラバス）の活用、学習指導部・進路サポート部と連携して科目選択等の指導を充実する
- 3) 音楽科と普通科の互いの高め合い
- ・両科の生徒が交流できる機会を多く設け、互いが認め合い高め合っていくよう努める

3 基本的な生活習慣

- 1) 秩序ある生活の確立と規範意識の育成
- ・凡事徹底：「**時を守り 場を清め 礼を正す**」・提出物の期限の厳守等
 - ・出席状況

4 社会性の育成・社会に貢献できる人づくり

- 1) キャリア教育の推進
- ・生徒の自尊感情を高める——「心の指標」アンケート等の実施により生徒の心の状況を把握し、実態に応じた具体的対応をする
 - ・優れた文化的なものに触れることにより、生徒の感性を育てる
 - ・社会への関心——ボランティア活動、NIE、読書活動等の推進等
 - ・高大・高専連携等の充実
- 2) 部活動・音楽科活動等の充実・活性化

5 『縦』『横』のつながりの強化

- 1) チーム丸の内
- ・生徒も教職員も一人にしない、互いに関心をもつ
 - ・働き方改革——学校行事の精選と充実を進めて、ワークライフシナジー、生徒と関わる時間を確保する
 - ・不祥事の撲滅 個人情報の取り扱い、執務室、机上の整理整頓等に留意する
- 2) 保護者・同窓会・後援会等との連携
- ・学校説明会やPTA便り、ホームページを充実させ、学校からの情報発信によって保護者・同窓会・後援会、中学校の本校への理解・支援を推進する
 - ・PTA総会や年次別PTAに多くの保護者に参加していただけるよう、会の内容等を工夫する
- 3) 地域との連携
- ・清掃活動やボランティア活動を通じて、地域とつながり、地域に認めてもらえる学校を目指す

- 基礎力診断テストDゾーンの減少と上位層の増加
- 自主学習時間の確保・0分0人
- 授業理解度・満足度 90%以上
- 希望進路の実現 100%
 - ・国公立大学合格者 30 名以上
 - ・就職希望者の全員合格
- PTA総会の出席者の増加

- 遅刻・欠席の減少
 - ・学校欠席平均 3 日
- 休学者・中退者の減少
- 生徒指導件数 0 件
- 図書貸出冊数 4 冊
- 部活動を通じた人間的成長
- 地域貢献活動等への参加

社会で求められる【生きる力】

コミュニケーション力

構築 (プログラミング)

思考力・判断力・表現力=論理的に「聴く」「書く (構築する)」「伝える」⇒ 面 接

プレゼン

小論文 (記述力)

学びは楽しい：学業・部活動等・学校行事

*授業改善の継続・発展

スキルの活用・・・各教科 (授業)・・・考えさせる発問・作問

N I E・・・社会への関心、

体験できない知識、等

まる手帳

論理コミュニケーション

活動報告書

大学等との連携

総合的な探究 (学習) の時間

地域連携

部活動

学校行事

音楽科活動

生徒会活動

ボランティア活動

ホームルーム活動

高知丸の内高等学校 後期再編振興計画

*県立高等学校再編振興計画「後期実践計画」参照

○学力向上・進路保障

普通科の全日制単位制である幅広い教育活動を展開できる特色や、音楽科の専門性の強みを生かし「夢の実現」に向かって、国公立大学等への進学から就職まで、生徒が希望する多様な進路の実現を図る。

○論理的思考力を育む取組

「総合的な学習 (探究) の時間」において、I C T も活用して論理的な思考力を育む取組を導入するなど多種多様な選択科目の設定やそれによる少人数講座の利点、大学等との連携授業など単位制の特色を生かし生徒の進路希望に応じた効果的な教育課程を編成する。

○音楽科の取組

専門科目の学習や音楽大学と連携した授業の更なる充実により技術の向上を図るとともに、音楽活動を通じて豊かな感性をもった生徒の育成に努める。

○部活動の更なる活性化

実績ある文化系 (囲碁将棋、吹奏楽部等)・体育系 (女子ソフトボール部、カヌー部等) の活動を更に充実させ、全国レベルでの入賞等を目指して取り組むことで、学校の魅力化を一層推進する。

○大学や地域との連携

高知市の中心市街地、高知県立大学の真向かいに位置するという立地を生かし、それぞれとの連携を進めることで魅力ある学校づくりを一層推進するとともに、地域社会に貢献する意識と実践力を育成する。